

メルヴェイユ

オリジナル商品「044」香水も発売

川崎を“香りのまち”にしたい

川崎を“香りのまち”にしたい。メルヴェイユ(川崎市川崎区駅前本町、☎044-223-7367)は、香水を活用した地域活性化に挑戦している。川崎市の花や木などをイメージした香水「044」を商品化したほか、商業施設・川崎アゼリアにある直営店では、プロ監修による調香体験を通じ、自分だけのオリジナル香水が作れるサービスを展開。すでに500人が参加する人気企画となっている。川崎発の香水文化の醸成に向けて妹尾龍哉代表は奔走する。

2019年10月にアゼリアに直営店をオープン。店舗では化粧品やハーバリウム販売のほか、世界4カ国・計50～100種類の香水を販売する。

同店を運営するのは、有名な調香師である立川一義氏に師事した妹尾代表。香りには、人を癒やしたり、魅力を高めたりする効果がある。妹尾代表は「さまざまな“香り”に包まれた街にしたい」との思いで、店舗を運営する。

その一環として、店内で「オリジナル香水調香体験会」(参加費3900円、税込)を随時開催。営業時間内なら飛び込み参加もOKで、約30分かけて自分の好みやイメージに合ったオリジナル香水を作る。立川氏が開発したアンケート式のアプリを使用し、体験者の好みやイメージを分析。計24種のベース香種を調合しながらオリジナル香水にしていく。そし



て3種類の香水にして持ち帰れる。使い続けたい場合はリピートも可能だ。

一方、川崎をイメージしたオリジナル商品「044」(30ml入り5720円、税込)も発売。川崎の市外局番から命名したもので、自然豊かな市北部と工業地帯の市南部、それに川崎大師などの名所をイメージして調香した。100種類以上の試作品を作り、2年がかりで完成させた。今後は横浜や相模原など、市外でも地域特性を盛り込んだ香水を企画していきたいという。

相模テック

「目立つ」戦略で年9600棟

足場工事で急成長遂げる

相模テック(相模原市南区麻溝台、☎042-702-9933)は、足場工事で急成長を遂げている。同事業に新規参入したばかりの2012年当初は、施工件数は750棟程度だったが、昨年度は同9600棟となり、相模原市のみならず横浜市や埼玉県三郷市にも支店を出すまでになっている。

足場工事の施工、足場リースなどを手掛ける同業他社がいる中で、同社が差別化の一つとして考えているのは“派手さ”。自社トラックには、社名を赤色で塗装するなど、誰が見ても覚えるように工夫する。「どこかで『あの会社見たことがある』と、新規の仕事につながる可能性があります」と田島圭



太社長。現在、協力業者は60社、営業エリアは関東一円へと広がっている。

■19歳で創業

もともと、土木関係や溶接、鍛冶工などを経験した田島社長が2007年5月、19歳で創業した。

当時は土木関係の仕事を手掛けていたが、そもそも土木工事は雨天時だと仕事がなく安定しない。そこで足場工事に着目して12年3月の法人化とともに参入した。「足場工事は建築のファーストコンタクトです。足場がよくないと建築工事もうまく進みません。責任は大きいです」(田島社長)としており、資材も全て自社で保有、管理している。

最近では足場工事の補助具「踏み板用壁あてホルダー」を千葉県金属加工業者と共同開発。メーカー事業にも乗り出している。

2月に取材した
県内の
独創
企業

タイジ

厨房機器の技術生かす

深紫外線搭載の「殺菌庫」開発

厨房機器製造、タイジ(川崎市川崎区東田町、☎044-211-5881)は、ニューノーマル時代の対応製品として、紫外線の中でも除菌効果が高いとされる深紫外線(UV-C)殺菌灯を搭載した殺菌庫「ステリキャビSTR-35」を開発、発売した。

タオル蒸し器「ホットキャビ」などを製造販売する同社が、その技術を活用し、既存製品の殺菌灯付ホットキャビをベースに紫外線除菌に特化させた製品とした。アルコール消毒液などでは除菌しにくい形状や素材でも除菌できる。

日本製UV-Cランプを2灯搭載。最適に計算された反射板と組み合わせることで高い除菌効果を発揮するという。タイマー(10～60分)機能も付いており、除菌対象に合わせ最適な除菌時間が設定できる。20分程度で十分効果があるという。

同社は飲食店などでよく見かける、電気式のおしぼりタオル蒸し器を日本で初めて生み出した企業。「モノを温める」という用途を中心に、厨房機器やビュッフェ向け製品などを数多くラインアップしており、国内外に普及させている。

ただ、コロナ禍により、取引先の多くを占める飲食・サービス業に逆風が吹いている。こうした



中で、既存製品に、感染症対策の要素を盛り込むことでアップグレードし、飲食・サービス業の力になれないかを模索。これまでに取っ手を抗菌化したホットキャビなどを発売してきた。今回はその第7弾としている。

価格は22万円(税別)。保育施設や教育関連を中心に、発売前から150台近くの引き合いが寄せられた。同社の堀江裕明社長は「飲食業などでの業態変化が進む中、今後はテイクアウトやデリバリーに生かせる商品も開発していきたいです」と話している。



経営 財務

営業 人事

ワンストップで問題解決。

社長の
相談役神楽坂コンサルティング株式会社
www.kuruzo.com / ☎03-4570-0655社長さんが知っておきたい
冠婚葬祭のマナー

Q. そもそも冠婚葬祭(かんこんそうさい)って何ですか?

A. 日本に古くから伝わる、人生の節目に行う最も重要な儀式や行事の総称です。

今回は、重要な儀式の三つ目「葬(そう)」についてご紹介いたします。

冠婚葬祭の「葬」は、文字通り「葬儀(そうぎ)」のことを意味しており、

通夜・葬儀式をはじめ、人の死に関わる全ての行事や

儀式全般のことです。そこには、葬儀への弔問やお香典、法事や法要なども含まれます。

大昔から人が亡くなると、国や民族を問わず何らかの形でそれぞれ弔ってきた歴史がありますが、お葬式は故人のためだけの儀式と思われていませんか?

お葬式は、参列される近親者や友人知人を含めた方々の気持ちを整理する、大切な場面でもあります。訃報を受け、亡くなったという事実と向き合い、関係者へお知らせし、大切な人を失った悲しみを共有することで気持ちが和らぎます。

そして、儀式の最中に心を落ち着かせることで、命の尊さや、はかなさに改めて気が付き、故人の人生を想い弔うことで、心のケアにつながります。

最近では葬儀の小規模化や簡素化が進み、費用面なども含めシンプルなプランを選ばれる場面が多くなりました。その

中でも、葬儀本来の意味を知ること、故人やその家族にふさわしい弔い方ができると素敵ですね。

この続きは次回ご紹介いたします。素敵なお振舞いができる大人になれるよう、どうぞお役立てください。

(fami友葬・清水ふじ代)

大人の知恵袋③
～冠婚葬祭って?～KeNSiN
株式会社 建新

ALL-win

神奈川No.1住環境企業へ

https://www.kensin-inc.com/ TEL: 0120-954-326

HOME KENSO
ホーム建業株式会社